

# 【日刊留萌新聞に掲載されました】

8月24日(金)、本校で『キャリア教育講演会』の第1回目を開催しました。

講師に前北海道札幌東高等学校長で現在、北海学園大学で教鞭をとられている後藤哲氏をお招きし、『学ぶ理由～十八歳までに知っておくべきこと～』の演題で講演をしていただきました。

後藤先生がこれまでに歩んできた教員人生の中で得た経験を基に、「たった一度の人生、自分を変え、主体的に学ぶ」、「迷いや苦悩の中でアイデンティティを見つける大切さ」について生徒達に熱く語ってくださりました。

貴重な講演をしてくださった後藤哲先生、ありがとうございました。

## 学ぶことの大切さ語る

羽幌でキャリア教育講演会

【羽幌】羽幌高校(宮下)裕加校長 主催の「キャリア



羽幌高校のキャリア教育講演会の第1弾として「学ぶ理由」をテーマに講演する後藤さん

教育講演会が、24日午後1時から同校体育館で

開かれ、中高生らが、学ぶことの大切さを語る講演に聴き入った。知・徳・体のスペシャリスト4人を講師に、順次開く特別講演会の第1弾。北海学園大学教員で前札幌東高校長の後藤哲さんを講師に招いて開かれ、同校の全校生徒や羽幌中学校2年生、一般住民合わせて約250人が参加した。

講演のテーマは「学ぶ理由～18歳までに知っておくべきこと」。後藤さんは、自分が13歳のときに味わった挫折や「あんな思いはもう嫌だ。幸せをつかみたい」と、そのとき必死にならざるを得なかった成功への道を話したほか、長年の教師経験から「長い習慣を身につけている。人のために働ける。人を大切にできる人は自分も大切にできる。社会はそういう人を求めている」と語った。

また「学びの基本は素直さと深い深さ。始めから知っている人はいない。先生や父母など他者から教えてもらう。それでいいのかなと思うな」と述べたほか、「おいしい物も冷凍のままだと食べられない。解凍が必要だ。先生などから学んだ知識を自分で解凍して、使えるようにすることが大事」と強調した。これから生き抜くために必要な力や自己肯定感を持つことの大切さ、キャリアデザインを考える視点なども話した。

講演は、要所所で生徒に質問したり、課題を出して複数で話し合うことも取り入れながら行われ、生徒たちは級友と話し合いを持ちながら真剣な表情で耳を傾けていた。(児玉一明)